

次世代自動車インフラ整備促進事業

—EV・PHV普及に向けた充電インフラ整備—

2014年9月7日

(一社)次世代自動車振興センター
理事兼事務局長 石山 武

Next Generation Vehicle
Promotion Center

- ✓ NeVの活動内容紹介
- ✓ EV・PHV普及、充電インフラ整備状況
- ✓ 充電インフラ補助金申請に当たって
- ✓ さまざまな環境・シーンで活躍する充電器

次世代自動車振興センター概要

- ～2007年2月18日 財団法人日本自動車研究所 の一部署
「電動車両普及センター」
- 2007年2月19日 有限責任中間法人 電動車両普及センターとして独立
- 2009年4月1日 一般社団法人 次世代自動車振興センターに改名

【本拠地】 東京都港区虎ノ門

【主たる業務】

●補助事業

経済産業省から交付される補助金で、クリーンエネルギー自動車（CEV）購入、充電インフラ整備、水素インフラ整備に補助金の交付を行う。

●普及広報事業

電気自動車等の次世代自動車の展示試乗会・シンポジウム・調査などを通して普及・広報活動を行う。

NEVの活動内容紹介

補助金交付事業の概要

●車両購入補助

「**クリーンエネルギー自動車(CEV)等導入促進補助事業**」(平成10年度開始)

- ・H26年度現在、EV、PHV、クリーンディーゼル車が補助対象



(過去、ハイブリッド車も補助対象。H21年からH24年には、充電器本体の購入費に対する補助も実施)

●充電インフラ整備補助

「**次世代自動車充電インフラ整備促進事業**」(平成24年度補正：平成25年3月開始)

- ・CEV補助金から、充電インフラに係る補助が分離独立
- ・従来の充電器本体「購入費補助」に加え「設置工事費」まで補助範囲を拡大
- ・条件を満たせば「購入費＋工事費」の最大2/3を補助

●「**燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業**」(平成25年度開始)

- ・燃料電池自動車に水素を供給する設備の整備への補助

NeVの普及広報



EV・PHVインフラ整備をご検討の皆様へ
EV・PHV充電設備の設置に、国の補助金が出ます!!
次世代自動車充電インフラ整備促進事業のご案内(補助総額1,005億円)

補助率最大 $\frac{2}{3}$

クリーン
エネルギー自動車
CEV補助金

補助金のPR、次世代自動車の普及促進

最近のNeVイベント実施状況

東京モーターショー等のイベントでの、EV・PHV、充電器の出展・体験会、全国の自動車教習所での試乗体験会等を実施してきました。全国の多くの方々に、EV・PHV並びに充電器を実際に見て、体験していただく機会を提供するよう努めています。

2014年



2014.02.07~08

EV・PHV、充電機器展示および試乗会 in 沖縄宜野湾マリナー

「EV・PHVタウンシンポジウム in 沖縄」の開催と合わせ、沖縄コンベンションセンター会議棟・噴水前、沖縄宜野湾マリナーにて、EV・PHV、充電機器展示および試乗会を開催いたしました。

スペシャルイベント

2013年



2013.12.20~21

プロジェクションマッピング in 青森

2013年12月20日（金）、21日（土）、イトーヨーカドー青森店にて開催されました「プロジェクションマッピング EVと街が一体化する。Assimilation EV @AOMORI」を開催いたしました。

スペシャルイベント



2013.12.12~13

EV・PHV体験試乗会 in 京都

2013年12月12日（木）、3日（金）の2日間、13:00~16:00に、京都駅前にて、「EV・PHV体験試乗会」を開催致しました。

試乗会



2013年11月~12月

全国自動車教習所での充電インフラ、EV・PHV体験会

2013年11月9日~12月23日にかけて、全国9か所の自動車教習所で、充電インフラならびにEV・PHVの実機による体験会を実施いたしました。

試乗会



2013.11.27~12.01

充電インフラ、EV・PHV体験会 in 東京モーターショー

第43回東京モーターショー2013において、充電インフラならびにEV・PHVの実機による体験会を実施いたしました。

試乗会



2013.11.20~12.01

充電設備展示 in 東京モーターショー

2013年11月20日（水）~12月1日（日）、第43回東京モーターショー2013において、充電設備の展示を実施いたしました。

展示会



2013.11.29

女性視点が次世代のクルマ社会を創る-わたしとクルマのイイ関係-

東京モーターショー主催者特別企画シンポジウム「女性視点が次世代のクルマ社会を創る -わたしとクルマのイイ関係-」を開催いたしました。

スペシャルイベント

全国の自動車教習所でのEV・PHV体験試乗会

「乗ってみなきゃわからない。」

をスローガンに、全国24カ所（H26年度）の自動車教習所でのEV・PHV体験試乗会を実施中！
専用サイト「EV・PHVFanclub」、Facebook、Twitterを開設、随時情報を発信中！



- ・教習所周辺の運転又は同乗試乗を実施
- ・周辺地域の皆さんの参加も可
- ・仮免の教習生は、昼休みに構内で運転試乗が可能

Webサイトを有効に利用し、補助金申請情報、各種イベント情報、広報パンフレット、EV・PHVの調査結果、基本情報や海外の取り組みなどを広く発信しています。海外向けEnglishサイトもあります。

日本語トップページ

English サイト



NeVサイトのトピックス記事やイベント模様などを随時発信



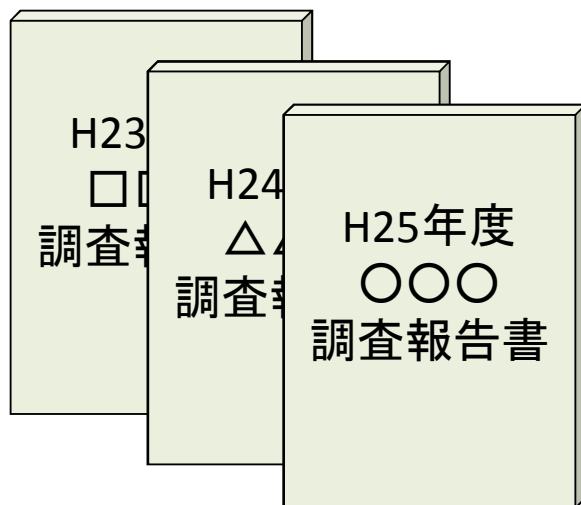
EV・PHVタウンの紹介、TV放送映像、イベント模様などを発信中

各種パンフレットの作成、調査結果の発信

各種パンフレット



調査報告書



<p>EV・PHV充電設備導入補助事業について (一般用) A4版 ミツ折 6頁カラー (申請締切日変更対応_2014.05)</p>	<p>EV・PHV充電設備導入補助について (分譲マンション用) A4版8頁カラー (申請締切日変更対応_2014.05)</p>
<p>ダウンロード PDF[5.0MB]</p>	<p>ダウンロード PDF[4.0MB]</p>

報告書・資料ダウンロード

平成25年度調査報告書

次世代自動車充電インフラ、EV・PHV普及に向けた取り組み調査		
充電インフラ整備事業採算性等調査	本編	概要

平成24年度調査報告書

平成24年度電気自動車・充電インフラ等の普及に関する調査	本編	要約
平成24年度充電ステーション最適配置に関する解析調査		

平成23年度調査報告書

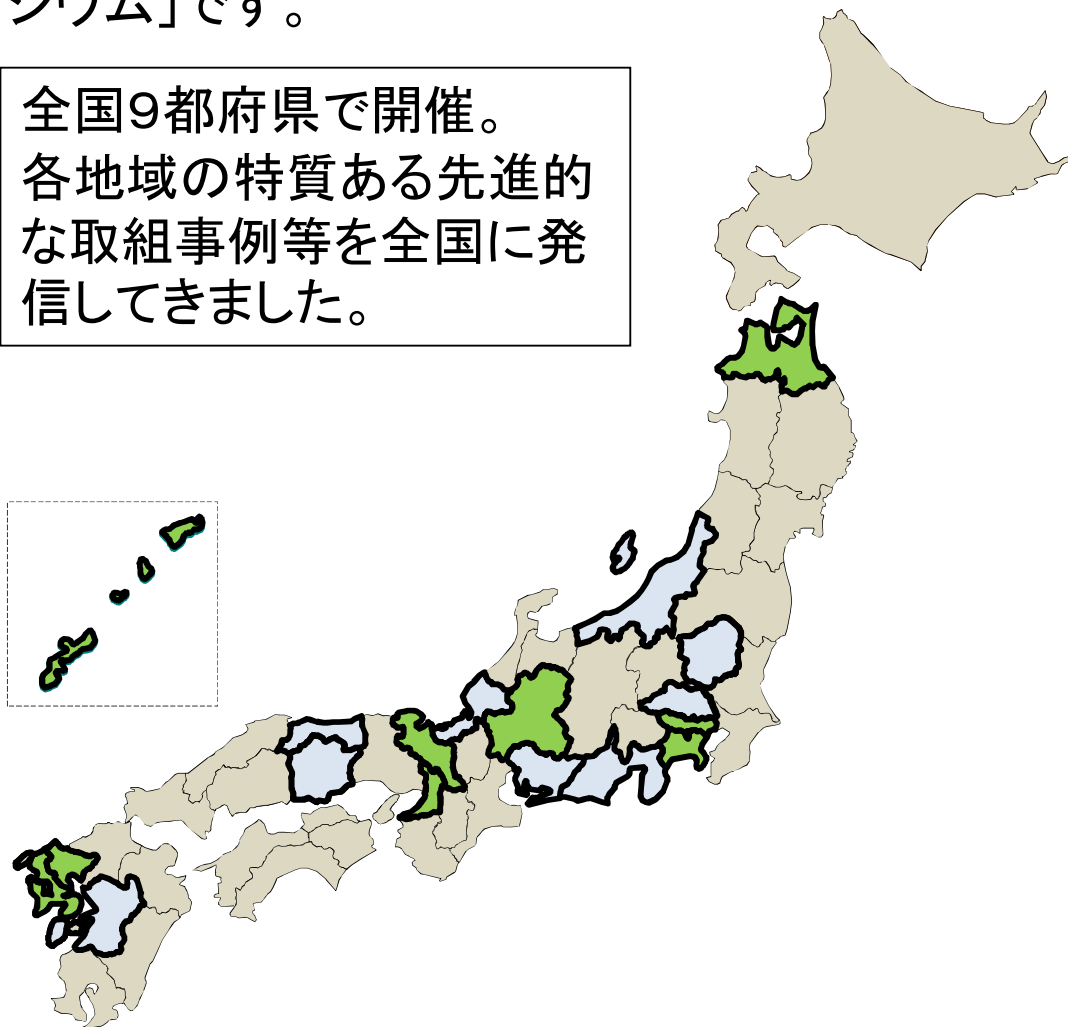
平成23年度電気自動車等の普及に関する調査	本編	要約
平成23年度改造EVに関する調査	本編	要約
平成23年度リチウムイオン電池リサイクルに関する調査		

ウェブサイトからダウンロード可能

「EV・PHVタウンシンポジウム」の実施

経済産業省では、EV・PHVの普及に先駆的に取り組む都府県を「EV・PHV タウン」として選定、各タウンにおけるモデル的な取組を、日本全国に展開を図ってきました。その取り組みの一つが全国各地で開催してきた「EV・PHVタウンシンポジウム」です。

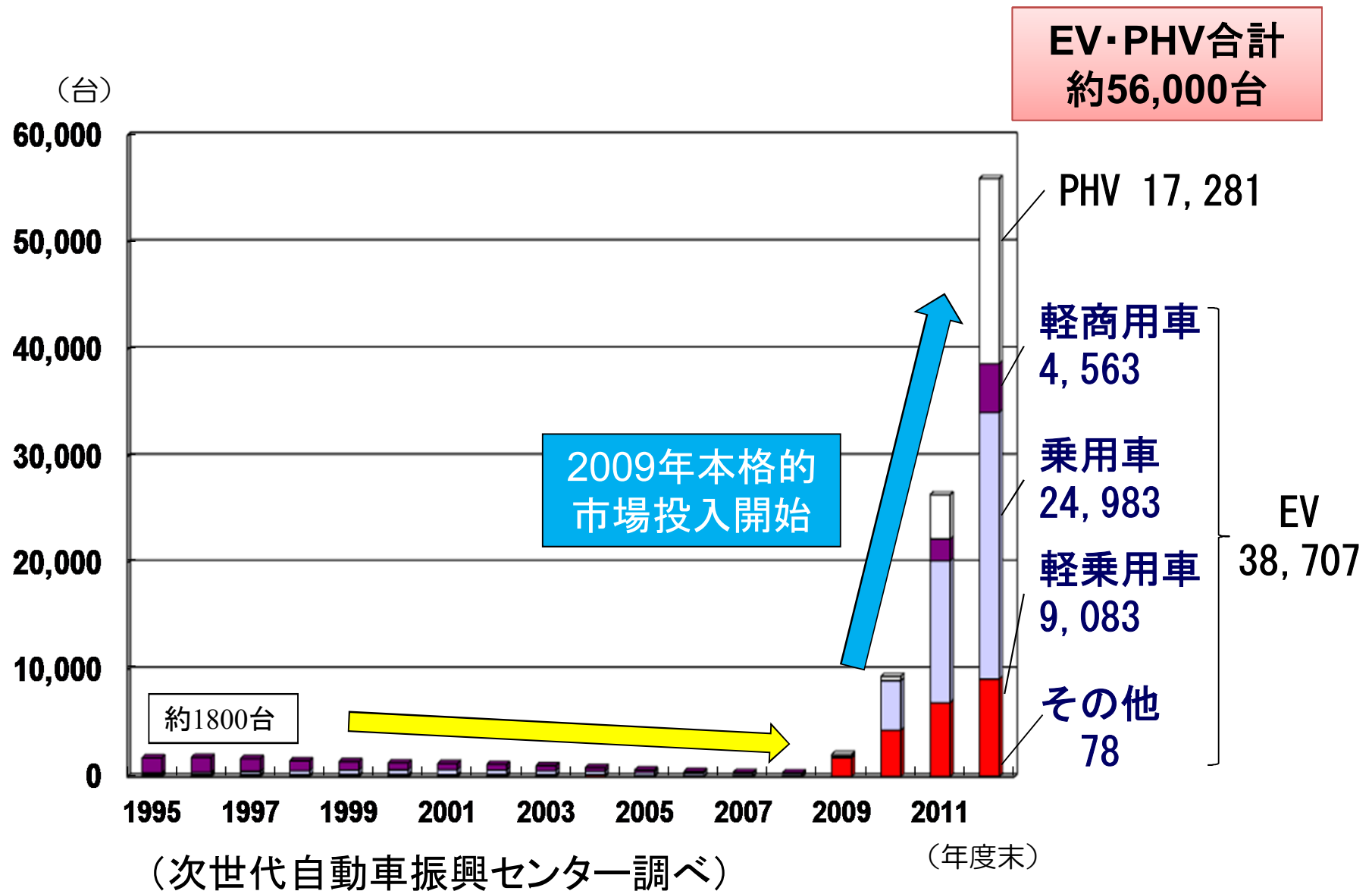
全国9都府県で開催。
各地域の特質ある先進的な取組事例等を全国に発信してきました。



	開催時期	開催場所
1	2010年2月	東京
2	2011年2月	京都
3	2012年2月	神奈川
4	2012年11月	大阪
5	2013年2月	長崎
6	2013年6月	東京
7	2013年8月	岐阜
8	2013年9月	東京
9	2013年12月	青森
10	2014年2月	沖縄
11	2014年7月	佐賀

EV・PHV普及、充電インフラ整備状況

日本のEV・PHV保有台数の推移



チャデモDC急速充電の設置状況



(CHAdeMO協議会ウェブサイト情報から作成)



充電インフラ補助金申請に当たって

充電インフラ補助事業の概要

- ・目的：この補助金制度は、次世代自動車用充電整備の設置に関する補助等の事業を行うことにより、設備投資等を喚起するとともに、**次世代自動車のさらなる普及を促進**することを目的とします。
- ・補助対象/補助率：下記の4つの事業区分に応じて、**新たに充電整備を購入・設置**を行う方に対して、補助金が交付されます。

事業名	概要	補助対象	補助率
第1の事業	自治体等が策定する充電器設置のためのビジョン(注1)に基づき、かつ公共性を有する充電設備の設置	充電器の購入費および設置工事費	2/3
第2の事業	ビジョンには基づかないものの、公共性を有する充電設備の設置	充電器の購入費および設置工事費	1/2
第3の事業	共同住宅の駐車場および月極め駐車場等へ設置する充電設備の設置	充電器の購入費および設置工事費	
第4の事業	上記以外の充電設備の設置	充電器の購入費	

(注1)都道府県及び高速道路会社が、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に必要な充電設備を計画的に配備するために適切な設置場所、充電器の種類と基数又は箇所数を示した、次世代自動車振興センターが認めたものです。

補助対象となる充電器

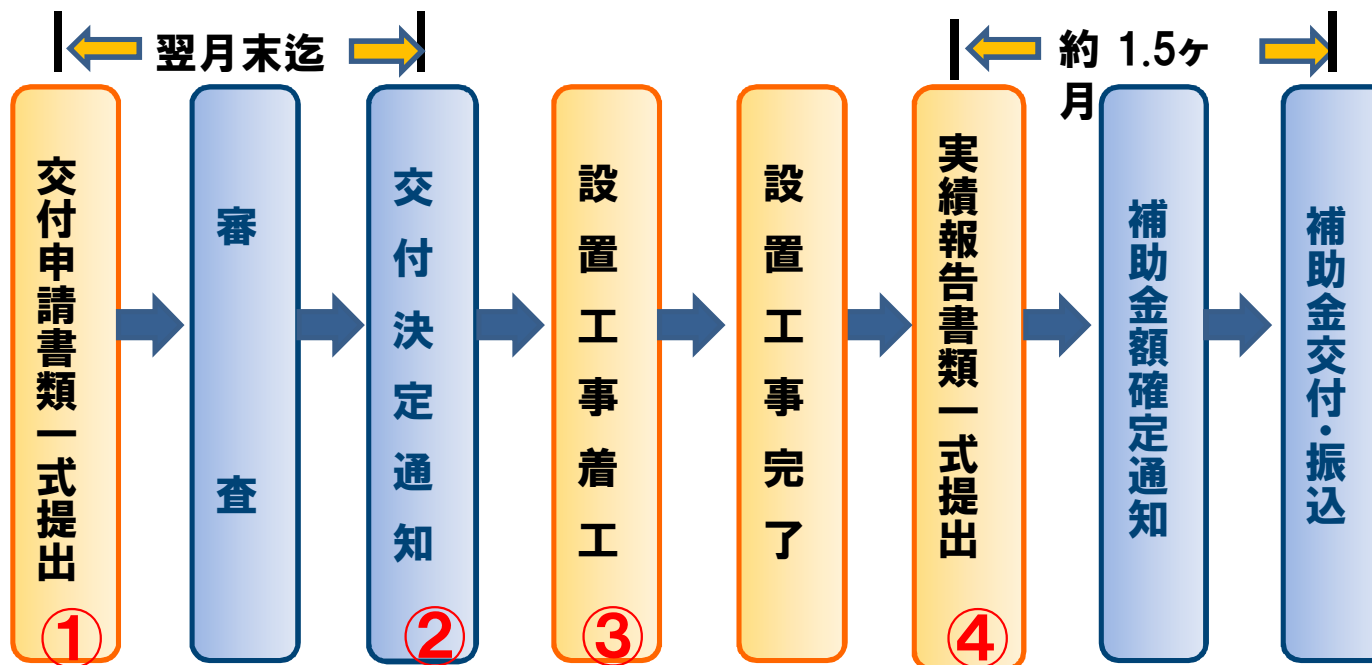
- 補助対象となる充電器は、①急速充電器、②普通充電器で、メーカーからの申請に基づき事前にセンターで審査・承認された充電器が補助対象となります。
- 注)普通充電設備には、**機械式駐車場に設置されるもの**に限り、**充電用コンセント**が含まれます。

①急速充電器	②普通充電器	充電用コンセント
	 <p>→ ケーブル付</p>	 <p>→ コンセント</p>

申請から補助金交付までの流れ

1)募集期間：**平成25年3月19日(火)～平成27年2月27日**

2)申請から補助金交付までの流れ



- ① 第1の事業では、申請前に自治体等に対して申請がビジョンの要件を満たしているかの確認を行い、管理Noを得た後の申請となります。
- ② 交付決定通知は、原則として申請書類一式がセンターに到着した日の翌月末となります。但し、申請書不備などにより審査に時間を要するものはこの限りではありません。
- ③ 第1～第3の事業の設置工事着工は、交付決定通知の発行日以降に行ってください。第4の事業の工事完了(設備検収終了、全額支払い完了)は、交付決定通知の発行日以降としてください。
- ④ 実績報告書類一式は設置工事完了日、又は補助対象経費の支払完了日のいずれか遅い日から30日以内(但し、第1・2・4の事業は平成27年10月30日まで、第3の事業は平成29年4月28日まで)に提出する必要があります。

さまざまな環境・シーンで活躍する充電器

さまざまな環境・シーンに整備される充電器



広がる充電器整備シーン例：フェリー

フェリー乗船中に、電気自動車への充電が可能となれば、乗船中の充電により、電気自動車の行動範囲がさらに拡大します。既に長距離フェリーへの普通充電器の設置例があります。



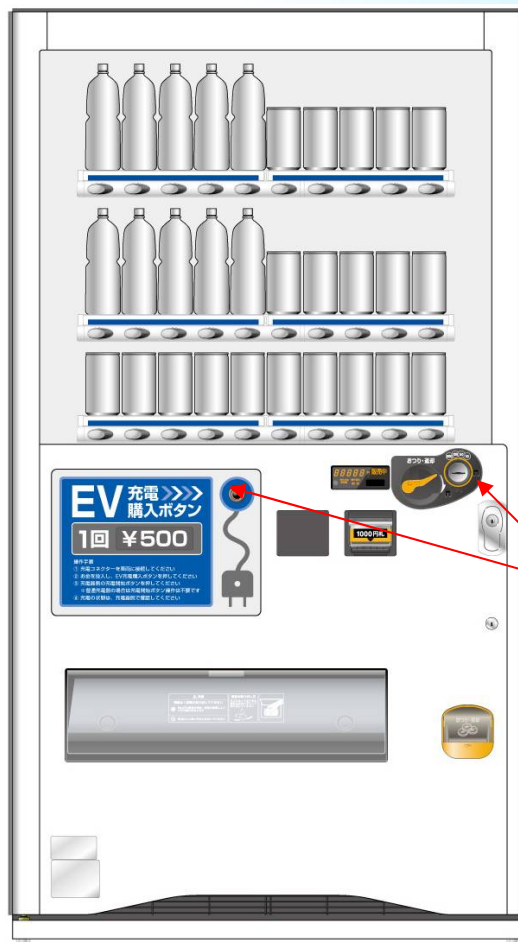
大阪府が定める『充電インフラ整備ビジョン』に基づき「フェリーきょうと2」・「フェリーふくおか2」に普通充電設備が設置されました。



広がる充電器整備シーン例：自動販売機連携

自動販売機と連携し課金を行う充電器も出て来ています。

自動販売機連携充電器のイメージ



自販機側に現金を入れ、
課金ボタンを押して充電。

自動販売機の設置と合わせて充電器を設置するビジネスモデルも出て来ています。

ご清聴ありがとうございました

次世代自動車

検索

充電インフラ整備補助金に関するお問い合わせは

充電インフラ補助
コールセンター

03-5501-4412 (9:00~17:00
平日のみ)